

# 副議長選挙に係る所信表明会会議録

令和7年5月21日

議 場

令和7年5月21日

午後3時03分開会

午後3時13分閉会

## ○副議長選挙所信表明

- 1 竹内功議員
- 2 深谷成信議員

以上のてんまつは会議録のとおりであるので署名する。

議会運営委員長 小柳 聡

○小柳 聡 議会運営委員長 ただいまから副議長選挙に係る所信表明会を開会します。(午後3:03)

議長選挙に引き続き、本会の進行を務めさせていただきます、よろしく申し上げます。

それでは、副議長選挙に係る所信表明を行っていただきます。

所信表明申出書が2名の方から提出されました。所信表明は、くじ引で決定のとおり、順次演壇で行っていただきます。なお、時間はおおむね5分の範囲内でお願います。

初めに、竹内功議員にお願います。

推薦議員は、青木学議員、石附幸子議員です。

◆竹内 功 議員 市民ネットにいがたの竹内功でございます。このたび新潟市議会の副議長選に当たり、私の所信を述べさせていただきます。

2011年に新潟市議会基本条例が制定されて以来、議会、執行部の双方がその趣旨を深く認識し、取組を進めてきました。その結果、議会のあるべき姿に向けて着実に前進していると考えています。一方で私たちは、二元代表制や議会基本条例の理念、原則に照らしながら、現状の課題に真摯かつ謙虚に向き合い、それを議員全体で共有し、市民の期待に応えられる議会を実現するため、不断の努力を続けていかなければなりません。この間、市長とのなれ合いと受け取られかねない振る舞いや、少数会派では何もできないといった趣旨の発言を見聞きしたことがあります。私は、議会が市長と独立、対等の立場にあること、そして大小にかかわらず、全ての会派議員が公平、公正に、議会運営及び執行部との関係において扱われるべきであると考えています。そのことを踏まえ、副議長として議長を補佐し、議会が市政に対し厳しい監視と積極的な行政提言を行う機関として、その力を高めるよう努力していく決意です。

今後、私がぜひ進めたいと考えている課題を2点申し上げます。これらは、既に会派として提起し、議会改革推進会議でも議論されているものです。

1つは、通年議会の導入です。議会のチェックが及ばない市長の専決処分は極力なくしていくべきです。今回の臨時会でも、専決処分の報告が予定されていますが、通年議会を導入することで、これらの案件を議案として審査し、議会の監視機能を強化することができます。

2つ目は、常任委員会のインターネット配信です。常任委員会は、実際の議案審査が行われる重要な場であり、その様子を市民が閲覧できるようにすることは、意思決定過程の透明化を図る上でも不可欠であり、市民により開かれた議会とするために早急に取り組むべき課題と考えています。

最後に、議会に対する市長及び執行部の姿勢について意見を申し述べます。中原市政になって以来、一般質問に対する答弁について、市長が第1問目のみに答えるのが既定事実化しているのではないかと思います。しかし、第2問目以降においても、市政の方向性や重要施策に関する質問は数多くあり、本来であれば市長が直接答えるべき内容が多々あります。また、第1問目に市長が答弁したにもかかわらず、その再質問に対しては担当部長に任せるといったケースも散見されています。中原市長は、一般質問においてリーダーとしての責任と姿勢を明確に示し、市民に向けて自身の考えを直接届けるよう、積極的に答弁に立つことを強く求めます。あわせて担当職員の皆さんにも、事前の答弁の割り振りにおいて、市長に付度するのではなく、市長が答えるべきと判断される質問についてはそのように正しく対応されることを強く求めます。

以上で私の所信表明を終わります。ありがとうございました。(拍手)

○小柳 聡 議会運営委員長 次に、深谷成信議員にお願います。

なお、推薦議員は、平松洋一議員、小柳聡、小林裕史議員、野口光晃議員です。

◆深谷成信 議員 新風にいがた、深谷成信であります。副議長選挙に際しまして、一言所信を申し述べさせていただきます。

14年前、初当選した私は、会派に属さない議員として、議会活動をスタートいたしました。もちろんそれは自ら望んだことではありましたが、どこの会派からのお誘いもなかったというのも偽らざる事実であります。右も左も分からない中でしたが、立場や肩書というものを一切求めず、こだわらず、またたとえ市民からの求めとは多少違ったとしても、お叱りを覚悟で自分の信念を忠実に発信すること、行動することを第一に選んでまいりました。しかしながら、時の流れとともに昨今では会派にも入れていただき、その上、様々なお役目も経験させていただくなど、その中で少し角が取れてきたのかなと感じているところであります。

さて、副議長職についての私の考えであります。まず議会を代表される議長に適法で中立、公正に職務を遂行していただけるよう、しっかりと支えさせていただくことで、議会の品位の保持に努めるとともに、民主的で効率的な議会運営の継承を心がけ、これまでどおり広く市民に信頼される議会であり続けることができるよう、歴代副議長の御功績を見習い、励ませていただく所存であります。

その上で、私なりに申し上げさせていただくとすれば、人口減少を要因とする本市の抱える喫緊の諸課題への対応として、行政改革や議会改革の必要性を挙げさせていただきたいと考えています。予算の削減や施設の統廃合などによるサービスの低下によって、市民に御不自由、御不便、御迷惑をおかけすることへの理解をいただく場面がこれからますます増えるものと思われまます。そのような状況において、地域の皆様や将来世代の新潟市民に、その痛みをお願いするその前に、まず議会が率先して自らの改革を引き受ける姿勢を示すことが必要ではないかと考えるのであります。また、執行機関に対しても、問題を先送りすることのないよう、適切な批判と監視機能を発揮することで緊張関係を維持し、持続可能な自治体運営を目指すことが重要と考えております。

しかしながら、これらのことは、いずれについても議会の皆様、事務局スタッフ、執行機関の皆様、そして何より市民の皆様の御理解と御協力がいただけての話であることは申し上げるまでもありません。新潟市議会は、多様な御意見をお持ちの議員各位と、それをもとにする会派の集合体であります。このことを強く肝に銘じ、さらなる市政運営、市勢発展を図るため、より多くの合意点を見いだし、そしてより大きな力を合わせていただけるような環境づくりに誠心誠意努めさせていただくことをお約束して、私の所信といたします。御清聴誠にありがとうございました。（拍手）  
○小柳 聡 議会運営委員長 以上で副議長選挙に係る所信表明会を終わります。（午後3：13）